

令和元年度

第3回柏市社会教育委員会議

会議資料

令和2年2月26日

柏市社会教育委員 委員名簿

所属等	職務名	氏名 ※敬称略
柏市立柏第四小学校	校長	いわた くみ 岩田 久美
柏市立柏第二中学校	校長	すぎもと ひであき 杉本 秀彰
柏市子ども会育成連絡協議会	会長	かどい たかし 門井 隆志
柏市青少年健全育成推進連絡協議会	副会長	さかまき まさる 坂巻 勝
多世代交流型コミュニティ実行委員会	代表	つねの まさとし 常野 正紀
柏市PTA連絡協議会	会長	よしだ ともき 吉田 智紀
柏市ふるさと協議会連合会	会長	ねもと としはる 根本 利治
柏の葉サイエンスエデュケーションラボ	会長	はむら たいが 羽村 太雅
柏市ストップ温暖化サポーター 元我孫子市社会教育指導員		むらた しずえ 村田 静枝
さわやかちば県民プラザ	所長	ないとう まさとし 内藤 正寿
柏市民生委員児童委員協議会		いとう かおる 伊藤 薫
開智国際大学	教授	てらもと たえこ 寺本 妙子
東京大学大学院	教授	まきの あつし 牧野 篤
文教大学	准教授	あおやま てっぺい 青山 鉄兵
市民公募		ほんだ のりこ 本多 紀子

任期：令和元年6月1日から令和3年5月31日まで

柏市教育委員会 出席職員名簿

所 属	職 名	氏 名
生涯学習部	部 長	おぬき しょうぞう 小貫 省三
生涯学習課 (事務局)	課 長	たかむら あきら 高村 光
	統括リーダー	ふなこし やすなり 船越 泰成
	統括リーダー	わたなべ まさえ 渡邊 雅恵
	主 査	すずき ゆうすけ 鈴木 佑介
	主 任	たかまる とみお 高丸 富雄
	生涯学習専門 アドバイザー (生涯学習分野)	はえぬき ひろたか 萌抜 博孝
		いしい れいこ 石井 礼子
ば ば ひでき 馬場 秀樹		
図書館	館 長	はしもと けんいちろう 橋本 賢一郎
学校教育部 指導課	副主幹	ゆもと こうじ 湯本 浩二

次 第

- 1 開会
- 2 生涯学習部長あいさつ
- 3 議長あいさつ
- 4 社会教育関係団体に対する補助金交付に係る意見の聴取について
- 5 第4次柏市生涯学習推進計画策定の進捗状況について
- 6 説明事項
 - (1) 社会教育委員会議の全体スケジュール
 - (2) 子どもの地域への愛着を育むために必要なこと
- 7 事例発表
『科学コミュニケーションを通じた地域交流の活性化』10年の活動の軌跡
- 8 協議事項（グループワーク）
「大人（親）がつながる方法や大人が楽しんで地域活動に参加するにはどのようにしたらよいか」
- 9 事務連絡
- 10 閉会

目 次

1	社会教育関係団体に対する補助金交付に係る 意見の聴取について	1
2	第4次柏市生涯学習推進計画策定の進捗状況について	3
3	社会教育委員会議の全体スケジュール	4
4	子どもの地域への愛着を育むために必要なこと	5
5	事例発表	7
6	協議事項	8
	参考	9

1 社会教育関係団体に対する 補助金交付に係る意見の聴取について

- ・社会教育関係団体に補助金を交付しようとする場合には社会教育委員の意見を聴いて行うこととされています。
- ・令和2年度は、以下の社会教育関係団体に対し、補助金の交付を予定しています。
- ・なお、令和2年度の補助金額は、令和元年度と同額を予定しています。

【補助金の交付を予定している社会教育関係団体】

担当課	団体名 (補助金件名)	令和2年度 予定額(円)
生涯学習課	柏市PTA連絡協議会 (PTA連絡協議会補助金)	940,000
	柏市青少年相談員連絡協議会 (青少年相談員連絡協議会活動費補助金)	3,391,000
	柏市青少年健全育成推進連絡協議会 (青少年健全育成推進連絡協議会活動費補助金)	2,408,000
	柏市子ども会育成連絡協議会 (子ども会育成連絡協議会活動費補助金)	1,134,000
	柏市スカウト連絡協議会 (スカウト連絡協議会活動費補助金)	262,000
文化課	柏市文化連盟 (柏市芸術文化活動補助金)	456,000
	柏市合唱連盟 (柏市芸術文化活動補助金)	121,000
	柏交響楽団 (柏市芸術文化活動補助金)	121,000
	柏市民吹奏楽団 (柏市芸術文化活動補助金)	121,000
	柏ジュニアストリングオーケストラ (柏市芸術文化活動補助金)	121,000
少年補導センター	柏市少年補導委員連絡協議会 (少年補導委員連絡協議会補助金)	461,000

参考

○社会教育法

(社会教育関係団体の定義)

第 10 条 この法律で「社会教育関係団体」とは、法人であると否とを問わず、公の支配に属しない団体で社会教育に関する事業を行うことを主たる目的とするものをいう。

(審議会等への諮問)

第 13 条 国又は地方公共団体が社会教育関係団体に対し補助金を交付しようとする場合には、あらかじめ、(中略)地方公共団体にあつては教育委員会が社会教育委員の会議(中略)の意見を聴いて行わなければならない。

概要

柏市内の小中学校のPTAで組織された団体。単位PTA相互の連絡及び共通課題の研究を進め、相互提携して市内PTAの健全な発展に寄与する活動を行っている。総会・運営委員会・専門委員会、PTA活動に関する研修会、研究協議会の開催、広報紙の発行、こども110活動等の事業に対する補助金。

青少年健全育成を推進するために千葉県知事及び柏市長から委嘱を受け、さまざまな体験活動や啓発活動に取り組む青少年相談員をもって組織される柏市青少年相談員連絡協議会に対する補助金。

青少年の健全育成を目的に、小中学校とPTAや町会、民生委員などの各種団体等(青少年相談員、少年補導委員、子ども会など)で構成される青少年健全育成推進連絡協議会に対する補助金。

子ども達の健全育成を目的に異なる年齢の子ども及び運営を行う子ども会を持って組織し、保護者や地域住民の支援のもと学校外における遊びを通して子ども達が健やかに成長できるよう様々な行事を行っている子ども会育成連絡協議会に対する補助金。

スカウト活動を通じた青少年健全育成を目的に柏市スカウト連絡協議会が行う活動に必要な会議及び調査研修等に対しての補助金。

芸術文化活動を行う団体に対し、芸術文化活動の活性化を促進し、もって芸術文化の振興に資することを目的とする活動補助金。

青少年の非行防止と健全育成に寄与するため地域における補導活動等を行う少年補導委員で組織される柏市少年補導委員連絡協議会の活動を支援する補助金。

② 第4次柏市生涯学習推進計画策定の 進捗状況について

「第4次柏市生涯学習推進計画」の策定を目指し、令和元年度から令和2年度までの2年間を通して、柏市生涯学習推進協議会において議論している計画内容について、現在の進捗状況をご報告します。

別紙「説明資料」のとおり

3

社会教育委員会議の全体スケジュール

<令和元年度>

第1回
(7月31日)

- ・委嘱状交付
- ・議長及び副議長の選出（寺本議長・常野副議長）
- ・グループワーク「今期のテーマ」
- ・生涯学習部主要事務事業概要報告



第2回
(11月6日)

- ・柏市コミュニティ・スクール報告
- ・グループワーク「子どもに地域への愛着を持たせるためには何が必要か」



第3回
(2月26日)

- ・講義（テーマについて知見を広める）
- ・グループワーク
- ・生涯学習推進計画策定状況報告
- ・社会教育関係団体補助金交付への意見



<令和2年度>

第4回
(6月～7月)

- ・前年会議の振り返り
- ・グループワーク（提言の方向性）
- ・生涯学習部主要事務事業概要報告



第5回
(10月～11月)

- ・意見交換（提言案の検討）
- ・生涯学習推進計画案の説明
- ・計画案について意見交換



第6回
(1月～2月)

- ・提言
- ・社会教育関係団体補助金交付への意見
- ・社会教育委員会議の振り返り

4 子どもの地域への愛着を育むために 必要なこと

1 前回のグループワークにおける主な意見（令和元年11月6日）

前回の議題

子どもに地域への愛着を持たせるためには何が必要か

- まず、親や地域の大人がつながることが必要
- 地域活動やイベントに親が参加していれば子どももついてくる
- 大人自身が楽しめるかが大事
- 子どもの地域活動への関心には親の考え方が反映
- 子どもに行事で役割が与えられていること
- 子どもにとって楽しい経験となったかが重要
- イベント等を通じて、子どもが認められたり大事にされた体験が大事

ポイント

- ①大人（親）がつながること、大人自身が楽しむこと
- ②子どもにとって楽しい経験である地域活動
（子どもに地域の中で役割が与えられている）

2 ポイントの関連性



子どもの地域に対する愛着を育みたい

課題①

大人のつながり，楽しみながら地域へ参加

今日の議題

課題②

子どもが楽しいと思える経験

課題を
解決を

『子どもが地域活動へ積極的に参加する』



愛着の育成

5 事例発表

『科学コミュニケーションを通じた地域交流の活性化』10年の活動の軌跡

1 発表者

羽村 太雅

柏の葉サイエンスエデュケーションラボ（KSEL）会長／国立天文台 広報普及員／江戸川大学 非常勤講師

東京大学柏キャンパスで地球惑星科学を専攻。隕石の衝突を模擬した実験を通じて生命の起源を研究した。研究の傍ら『地域交流の活性化』を目指す市民活動団体「柏の葉サイエンスエデュケーションラボ」を立ち上げた。自然体験活動を通じて理科を学ぶ合宿『理科の修学旅行』や、空きアパートをDIYで改修した『手作り科学館 Exedra』など数多くの科学コミュニケーション活動を手掛ける。受賞歴、メディア出演・掲載歴多数。国内旅行業務取扱管理者。

2 説明資料

別添のとおり

6 協議事項

1 グループワークの実施

今回の議題

大人（親）がつながる方法や大人が楽しみながら地域活動に参加するにはどのようにしたらよいか

2 テーマについての補足

- ・ご自身が関わっている**地域の特性や専門分野**に合わせた方法で考えてください。
- ・できる限り**具体的**な方法や活動について協議をお願いします。
- ・解決しなければならない**課題**でも構いません。

3 グループワークの方法

- 2班（Ⅰ班・Ⅱ班）に分かれていただきます。
- ※別添名簿をご参照いただき、移動をお願いします。

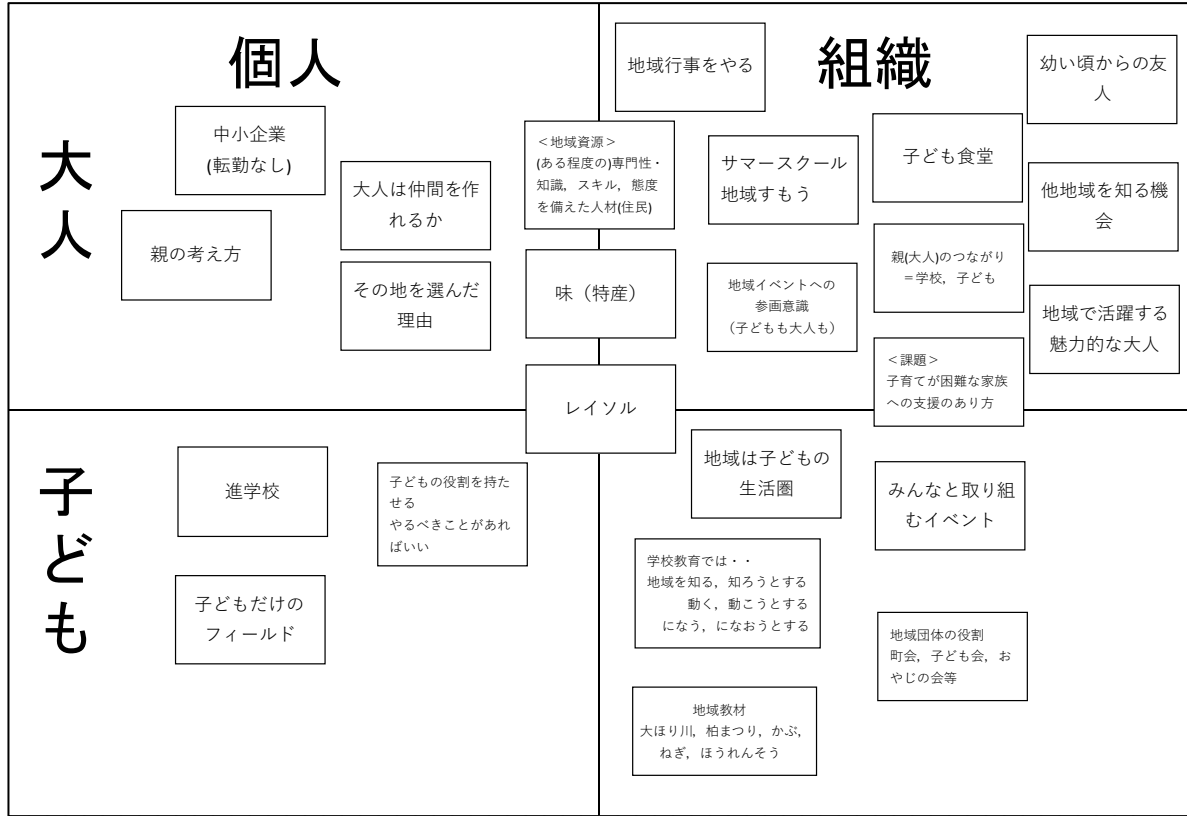
○ 議題について話し合うとともに、内容を付箋に記入し、模造紙に貼り付けてください。

○ 40分で協議した後、話し合った内容の発表をお願いいたします。（班ごとに発表者を決めてください。）

参考

1 第2回社会教育委員会議 (R1/11/6) グループワークの結果

【1班】



【2班】



